

米国経済・株式市場情報

足元の米国株急落の背景と今後の見通し

- 2月5日の米国株は前日比4.1%の大幅下落。米国株下落の要因は金利上昇懸念からプログラム取引の売りへのシフト。
- 米国企業の2018年の業績見通しは底堅い増益が見込まれ、足元の株価急落により米国株の割高感の修正が進む。
- 米国株の変動増大の背景にはFRBの体制移行への不安も影響。FRB新体制の「市場との対話」が市場安定化のカギ。

プログラム取引による売りが米国株急落の背景

2月5日の米国株式市場では、S&P500指数が前日比4.1%の大幅下落となり、短期的に米国株の調整色が強まる展開となりました（図1上段）。

市場関係者の間では2月5日の米国株急落の背景は、株価変動（ボラティリティ）への懸念に起因したプログラム取引による機械的な売りの拡大にあるとみられています。1月29日～2月2日の米国株の下落局面では、米国経済の好調を背景にした金利上昇懸念が株安を主導してきましたが、2月5日の市場ではVIX指数（先行きの株価変動予想）の急上昇へ株安の要因がシフトしました。（図1）。

株価急落により米国株の割高感の修正が進む

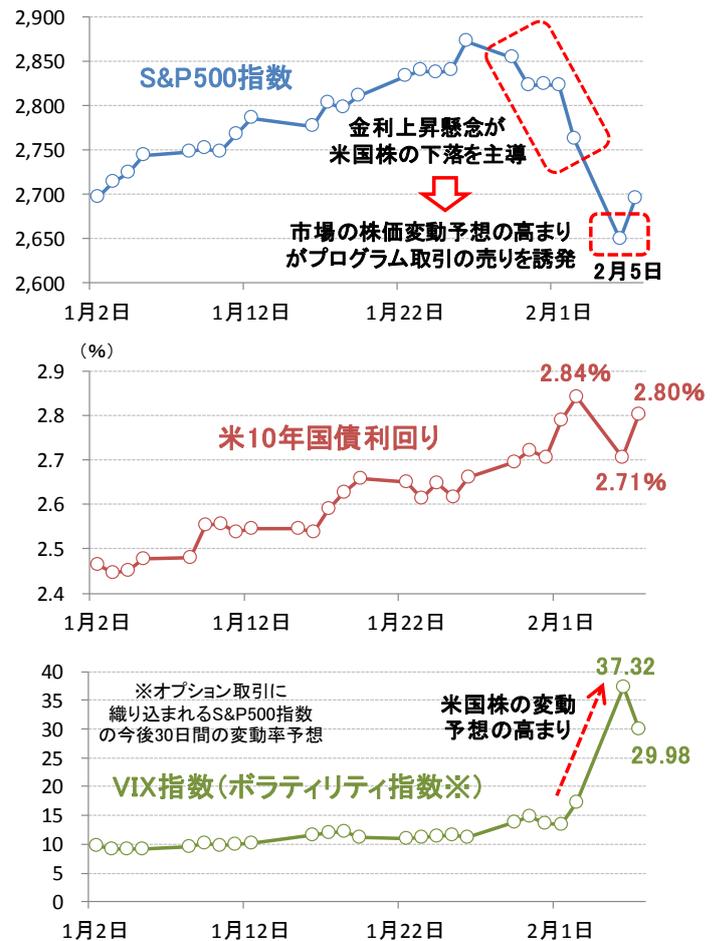
米国企業の2018年の業績見通しは、税制改革の効果を織り込んだ上方修正が進み、底堅い増益が見込まれています。足元での株価急落によってS&P500指数の12ヵ月先予想PERは17.16倍へ低下しており、米国株の割高感の修正が進みつつあります（図2）。

FRBの「市場との対話」が米国株の安定化のカギ

2月6日の米国株式市場では、S&P500指数が前日比1.7%の上昇となり、米国株の下落に歯止めがかかりました。当面はVIX指数の上昇やプログラム取引による売りが一巡するまで米国株の相場変動には注意が必要とみられますが、市場が安定に向かう過程で米国株への見直しが広がる可能性もありそうです。

また、足元で米国株のボラティリティへの懸念が増した背景には、体制移行に伴う米連邦準備制度理事会（FRB）の政策運営への不安も影響していると考えられます。当面は、2月28日と3月1日のパウエル新議長の議会証言や3月20-21日の米連邦公開市場委員会（FOMC）において、円滑な「市場との対話」が図られるかが米国株式市場の安定化のカギとなりそうです。

図1：2018年初来の米国株、米長期金利、VIX指数



(出所) ブルームバーグ (期間) 2018年1月2日～2月6日

図2：米国株のバリュエーション



(出所) ブルームバーグ (期間) 2010年1月1日～2018年2月6日

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、レグ・メイソン・アセット・マネジメントの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>